

履修年度	2018
講義コード	kk527
授業科目 (英語名称)	専門教育入門セミナーT(7) Introductory Seminar Academic Disciplines T(7)
担当教員	伊達 章
単位	2
対象学年	1年
開講日	後期 月曜日 1・2時限
ナンバリングコード	C0C (地域を理解し実践する科目)

授業概要

(授業のねらい)

専門技術者として社会で活躍するためには、自立的・主体的・計画的に考え行動し、問題や課題に直面した際に自分で対処し解決する力が必要となります。そのためには、コミュニケーション能力、自己学習能力、課題発見能力、論理的思考能力、文章記述能力、プレゼンテーション能力など、さまざまな能力を大学在学中に培っておく必要があります。この授業では、専門教育を受ける準備として、日本語によるコミュニケーション能力、自己学習能力を養成します。

(達成目標)

情報システム工学科の学習・教育到達目標における位置づけ: C-1, C-3

育成する資質・能力(ディプロマ・ポリシーとの関連)

資質・能力	説明
人間性・社会性・国際性	* 倫理観: 自己の良心と社会の規範やルール, モラルに従って行動できる。 チームワーク: 他者と協調・協働して行動できる。 多文化・異文化理解: 多文化・異文化に関する知識を理解できる。
主体的に学ぶ力	* 主体的に学ぶ力: 自ら学修計画を立て, 主体的な学びを実践できる。
コミュニケーション能力	言語リテラシー: 日本語と特定の外国語を用いて, 読み, 書き, 聞き, 話すことができる。 他者理解・自己表現力: 相手の伝えたいことを的確に理解し, 有効な方法で自己を表現できる。
課題発見・解決力	情報リテラシー: 情報通信技術 (ICT) を用いて多様な情報を収集し, 数量的スキルに基づいて分析し, 効果的に活用することができる。 * 問題解決力: 問題を発見し, その問題を論理的に分析し, 確実に解決できる。
知識・技能	* 文化・社会・自然・地域の理解: 人類の文化, 社会, 自然及び地域に関する知識を理解できる。 * 専門知識・技能: 専門分野に関する知識を理解し, 身に付けた技能 (実践力) を活用できる。

学習目標

身につける資質・能力

- (1) 日本語でかかれた科学技術の文章を読解することができる。
- (2) 科学技術に関する講演の内容を理解することができる。
- (3) 技術的な内容を他者に正確に伝えることができる。
- (4) 課題に対して自分自身で情報を収集し学習することができる。

授業計画

回数	日時	授業内容・方法	授業時間外の学修	備考
第1回	10月1日(月)	科目オリエンテーション		
第2回	10月9日(火)	研究室配属(第1日目) ・1研究室あたり5~6名の学生を配属し、研究室の教員の指導のもと、セミナー、実験、実習を行う。セミナー、実験、実習の内容を発表するとともにレポートにまとめる。		
第3回	10月15日(月)	研究室配属(第2日目)		
第4回	10月22日(月)	研究室配属(第3日目)		
第5回	10月29日(月)	研究室配属(第4日目)		
第6回	11月5日(月)	研究室配属(第5日目)		
第7回	11月26日(月)	研究紹介(第1日目) ・情報システム工学科の教員が自身の研究内容について解説する。1回あたり3名の教員が担当する。		
第8回	12月3日(月)	研究紹介(第2日目)		
第9回	12月10日(月)	研究紹介(第3日目)		
第10回	12月17日(月)	研究紹介(第4日目)		

授業計画				
回数	日時	授業内容・方法	授業時間外の学修	備考
第11回	1月16日(水)	情報システムのこれから		
第12回	1月18日(金) 予定	企業見学		
第13回	1月18日(金) 予定	企業見学		
第14回	1月18日(金) 予定	企業見学		
第15回	1月21日(月)	まとめ		
上記の「授業計画」は予定であり、変更の可能性があります。				

成績評価方法			
評価手段	実施内容	評価比率	学習目標との対応
プレゼンテーションとレポート。定期試験は行わない。	各担当教員がそれぞれ評価する。	研究室配属、研究紹介、企業見学、そのほかの比率は、4:4:1:1程度である。	

成績評価基準
<p>宮崎大学基礎教育科目の受講及び成績評価に関する内規による。 成績評価基準は、下記の標語と評点により、秀、優、良、可を合格とし、不可は不合格とする。</p> <p>秀: 評点90点以上(学習目標を特に優秀な水準で達成している) 優: 評点80~89点(学習目標を優秀な水準で達成している) 良: 評点70~79点(学習目標を良好に達成している) 可: 評点60~69点(学習目標の必要最低限は達成している) 不可: 評点60点未満(学習目標の必要最低限を達成していない)</p> <p>保留: 評点が30点以上59点までの者に対しては再評価を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべてのレポートの提出、中間試験、定期試験を受けていること。 出席が所定の回数に満たない者は成績評価を受けることができない。 中間試験、定期試験、試験に代わるレポート等における不正行為をした者は、成績評価が無効となる。

教材

教科書				
ISBN	書名	著者	出版社	価格

参考書				
ISBN	書名	著者	出版社	価格

参考URL	
サイト名	URL

参考資料

オフィスアワー

関連する授業科目
大学教育入門セミナー

履修上の注意
<ul style="list-style-type: none"> 研究紹介、企業見学について、レポートを作成に1時間程度の自習が必要である。 研究室配属の課題達成のために2時間程度の自習が必要である。また、プレゼンテーション・レポート作成には4時間程度の自習が必要である。

履修上の注意

・企業見学の開催の都合で、授業の順番が変わることがあります。

キーワード